

令和8年度



フレアキャンパス講座情報

受講無料

☆ 講座の申込方法 ☆

電話、ファクシミリ、E-mailのいずれかで、パークテレコメディアへお申し込みください。
 なお、各欄に申込先等がある講座は、そちらに直接ご連絡ください。
☆講座を中止する場合には、決定次第パークテレコメディアHPに掲載いたします。

パーク テレコメディア (徳島県立男女共同参画総合支援センター)

〒770-8055 徳島市山城町東浜傍1-1(アスティとくしま2階)
 TEL : 088-655-3911 ファクシミリ: 088-626-6189
 E-mail: flairtokushima@mf.pikara.ne.jp
 URL: <https://www.pref.tokushima.lg.jp/flair>
 開館時間: 10:00~18:00
 休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)
 [8月11日(火)は祝日のため開館 12日(水)休館]
 年末・年始休

〈ホームページ〉



8月2日(日) 13:30~15:25 ◇申込不要	(共催)フレアシネマ劇場 徳島県女性協議会 第1部:徳島県女性協議会からのお知らせ 研修「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込みや偏見)について考える」 第2部:映画上映「飛べ!ダコタ」 2013年作品(日本) 上映時間109分 (日本語字幕なし、館内にヒアリンググループ設置) ●場所:テレコメディア ホール(アスティとくしま 2階) ●対象:一般 ●定員:100名	 
8月2日(日) 13:30~16:00 ◇申込不要	(推進)雲の会(わかちあいの会) ~大切な人を自死で亡くした家族同士が語り合う場~ ●場所:第6会議室(アスティとくしま 2階) ●対象:ご家族を自死で亡くされた方 ◎問合せ先:徳島県精神保健福祉センター 電話 088-602-8911	
8月6日(木) 10:30~12:30 ◆要申込	(共催)こころのcare講座「傷つきによる喪失とグリーフ」 女性グループ・すいーぷ ●場所:学習室(アスティとくしま 2階) ●対象:DV被害を受けた当事者の方・支援者 女性限定 10名 ●資料代:200円 ◎問合せ先:女性グループ・すいーぷ 電話:080-2995-1639 ◎申込方法:すいーぷの携帯電話番号080-2995-1639へのショートメールにて受付いたします。	
8月27日(木) 10:00~12:00 ◆要申込	(共催)ほのぼの子育て お話しスペース フレア なかみちの会 ●場所:パーク テレコメディア学習室(アスティとくしま 2階) ●対象:育児中の方、または育児に関心のある方 ●定員:20名程度 ●参加費:200円(資料代) ◎問合せ先:なかみちの会 電話 090-4330-1336 E-mail: adlertokushimamama3@gmail.com (細川)	
8月29日(土) 午前の部 10:30~12:00 午後の部 13:30~15:00 ◆要申込	くらしnoすてっぷあぶ教室 in 徳島市 徳島県立男女共同参画総合支援センター・徳島県金融広報委員会 ●講師:J-FLEC講師 井上 明美さん ●場所:パーク テレコメディア学習室(アスティとくしま 2階) ●対象:小学校1~3年生とその保護者 ●定員:午前・午後 各30名程度 ●申込方法:E-mail(応募多数の場合は抽選) 募集期間 7月17日(金)~8月3日(月)必着	

無料託児あります

託児の申込は講座の2日前(休館日を除く)までに
 直接こども室へ電話してください
 対象:1歳から就学前までのお子様
 こども室 088-655-4638



フレア相談室

☆電話相談☆一 月・水・木・金・土 10:00~12:00・13:00~17:00

☆面接相談(予約制)☆一

女性対象 毎月第1・3・4木曜日 10:00~12:00・13:00~16:00 (1人50分程度)

男性対象 毎月第1・3金曜日 15:00~17:00 (1人50分程度) * 男性公認心理師が面接をします。

☆弁護士による法律相談(予約制)☆一

女性対象 毎月第2木曜日 13:00~16:00 (原則1人30分)

男性対象 毎月第2金曜日 13:00~16:00 (原則1人30分)

☆創業相談(予約制)☆一

毎月第2・4水曜日(8月は第2が祝日のため19日・26日)

10:00~12:00・13:00~16:00 (1人50分程度)

* いずれの相談も休館日は休み。

電話 088-626-6188

☆面接・法律・創業・子育て相談は

必ず電話での予約をお願いいたします。



徳島県の現状から見る

男女共同参画のいま

— データで知る、私たちの地域の課題

徳島県では、働く女性が多い一方で、議会や管理職など「意思決定の場」への参画がまだ十分とは言えません。

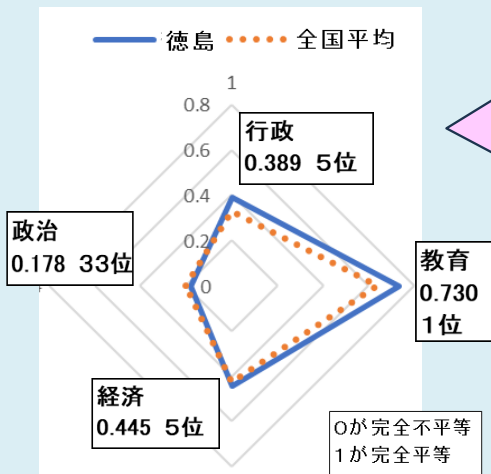
地域の多様な声を生かすために、現状をデータで見つめ直してみませんか。男女共同参画は「女性のため」だけではなく、地域の未来をつくるための取り組みです。

世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数によると、日本は教育・健康分野では世界トップクラスの平等を達成しています。しかし、政治・経済分野での格差が大きく、総合順位は118位にとどまっています。

では、徳島県は国内で比較すると…？

ジェンダーギャップ指数は、国の男女平等の進み具合を“見える化”したものです。経済・教育・健康・政治の4分野で男女差を数値化し、1に近いほど平等。

徳島県のジェンダーギャップ指数(国内比較)



徳島県の強みと課題

- ・ **教育分野1位、行政と経済分野がともに5位**と、3分野で全国上位。
- ・ **四年制大学進学率**で女性が男性を上回る数少ない自治体の一つで、男女の平等度は**3年連続で1位**を達成。
- ・ **高校の校長の女性比率が突出して高い。**
- ・ **政治分野**では女性ゼロ議会が減ったことで(2024年末時点)、平等度はやや正されたが、県議会の女性議員の割合を見ると**性別のアンバランスさが解消されているとは言えない。**
- ・ **国政選挙に挑戦する女性も少ない状況**で、より政治に参画しやすい環境づくりが期待される。

出典:「地域からジェンダー平等研究会」

2025年の「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」より作成

なぜ男女共同参画が必要なのか

- ・ 多様な視点が意思決定に加わることで、社会の質が向上する
- ・ 働き方の選択肢が広がり、誰もが能力を発揮できる
- ・ 家庭・地域・職場の負担が公平になり、持続可能な社会につながる

今日からできる一歩

家庭で

- ・ 家事・育児・介護を「性別」ではなく「できる人が」分担する。
- ・ 職場での無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づく。
- ・ 地域活動や会議に、女性も男性も参加しやすい環境をつくる。
- ・ 子どもたちの進路選択に、性別の固定観念を持ち込まない。

職場で

地域で

※一人ひとりの小さな行動が、徳島県の未来を変えていきます。
ともに、誰もが自分らしく生きられる地域をつくりましょう。

7月～8月は「徳島県男女協調月間」

県では、毎年7月と8月の2か月間を「徳島県男女協調月間」と定め、県民の皆様へ「男女共同参画」について理解を深めていただくため、パネル展示のほか、さまざまな取り組みを行っています。

今後も、男女共同参画についての視点を取り入れた講座等を開催し、一人ひとりが個人として尊重され、個性や能力を発揮し、自分らしく生きていけるよう、県民の皆様が楽しく学べる時間と機会を提供して参ります。